



決算説明会資料

未来のNOBLEを見据えて
抵抗器のNOBLEから新生NOBLEへの深化と進化

2021年12月9日

◆中期経営計画骨子

- ▶ 長期ビジョン【抵抗器のNOBLEから新生NOBLEへの深化と進化】を基本とする。
- ▶ 当社独自の要素技術をベースにコア技術の深堀り【深化】を行う。
- ▶ 新規市場向け製品開発を加速すると共にコア技術の応用から【進化】を進める。
- ▶ 非接触化や新たなセンサーの開発を実施し、新事業領域の開拓を目指していく。

◆2022年3月期第2四半期実績

- ▶ 新型コロナウイルス感染症による巣ごもり需要によるアミューズメント市場向け受注が高止まっている。自動車車両メーカーにおける生産調整は当社売上に対しては軽微だった。
- ▶ WEB会議などの活用により出張旅費など販管費を削減した。

➡ 増収
➡ 増益

◆2022年3月期通期予想

- ▶ 半導体不足、成形素材金属素材不足や輸送費高騰から原価上昇圧力が高まっている。
- ▶ 下期に向け各市場で不透明感がさらに強くなっている。
- ▶ 自動車車両メーカー等客先における生産調整が継続。



受注自体は堅調だが不透明感が強いため、通期業績予想は据え置くこととした。

◆来期に向けて

- ▶ 中期経営計画初年度である2021年度は基礎固めの年とする。
- ▶ 基本戦略の着実な実行を目指し新製品開発、新規市場開拓を進めていく。

◆東京証券取引所新上場区分への対応

- ▶ 当社はプライム市場を選択した。（計画書開示済み）

- 当社グループ概要
- 中期経営計画
- 2022年3月期第2四半期決算概要と業績予想

当社グループ概要

- ▶ 企業理念
- ▶ 会社概要
- ▶ 沿革と業績推移
- ▶ 国内・海外拠点の展開地域
- ▶ 私たちの強み
- ▶ ICB・ディスクリート製品のベース技術
- ▶ 市場別主要製品・新製品
- ▶ 業界別シェア推移

帝通企業理念

帝通は電子部品の製造とサービスを
通して世界のお客様に満足して頂ける
仕事をいつも提供し続けることにより
豊かな社会の実現に貢献します。

会 社 名	帝国通信工業株式会社 Teikoku Tsushin Kogyo Co.,Ltd.
本 社 所 在 地	神奈川県川崎市中原区荻宿 4 5 - 1
創 業	1 9 4 4 年 8 月 1 日
代 表 者	代表取締役社長 羽生 満寿夫 (はにゆう ますお)
資 本 金	3 4 億 5 3 0 0 万円
従業員数 (連結)	1,586名 (2021年3月31日現在 連結)
連結売上高	1 2 0 億円 (2021年3月期 連結)
グループ会社数	連結子会社 日本国内6社 海外9社 合計15社
事 業 内 容	電子回路を制御する抵抗器やセンサ、スイッチなどの各種電子部品を「NOBLE」ブランドで国内・海外に展開している、1944年に創業の総合電子部品メーカー

沿革と業績推移

2021年8月 創立77年

NOBLE

- ・1944年8月、無線通信機部品の専門メーカーとして、東京芝浦電気株式会社(現株式会社東芝)、日本電気株式会社、日本無線株式会社ほか2社の共同出資により**帝国通信工業株式会社設立**
- ・帝国通信工業株式会社赤穂工場開設

- ・飯田帝通設立
- ・東京証券取引所2部上場
- ・現頃坂帝通に資本参加
- ・台湾富貴電子設立
- ・福井帝通設立

- ・大阪証券取引所2部上場
- ・東京・大阪両証券取引所1部に指定替え
- ・木曽精機設立
- ・帝通エンテニヤリング設立
- ・シンガポールノーブル設立

- ・ノーブルUSA設立
- ・香港富貴電子設立
- ・現ノーブルエレクトロニクスタイランド設立

- ・ミノワノーブル設立
- ・ノーブルプレジジョンタイランド設立
- ・ノーブル貿易(上海)設立

- ・ノーブルエレクトロニクスベトナム設立
- ・ノーブルトレーディング(バンコク)

- ・富貴(淮安)電子設立
- ・ノーブルエレクトロニクスタイランドを存続会社としてノーブルエレクトロニクスタイランドとノーブルプレジジョンタイランドを統合・福井帝通とミノワノーブル合併
- ・旧ミノワノーブル敷地に福井帝通ミノワ工場開設

1940・1950・1960・1970・1980・1990・2000・2010・2020

終戦後の混乱期 (1940年代)

- ・マイカコンデンサー、密閉型紙コンデンサー等のコンデンサー類の生産
- ・巻線抵抗、小型可変抵抗器、低周波変圧器、マイクロフォンなどの電子部品
- ・スピーカー、リボン型可変抵抗器
- ・5級スーパーラジオ、**ガク(撥音器)** クラクシオン可変抵抗器
- ・30・35型等可変抵抗器 TR25型、WR35型、WR25型 16型可変抵抗器、24型可変抵抗器
- ・スリーブモーター
- ・スピーカー
- ・ロータリースイッチ SR25、SR32、SL13

高度成長期

**東京オリンピック
カラーテレビ化による需要拡大 (1960年代)**

- ・可変抵抗器
電力型巻線可変抵抗器
金属皮膜可変抵抗器TF20N
通信機用炭素型可変抵抗器 TR282
- ・半固定抵抗器
超小型開放型半固定抵抗器 TM4K、TM06
- ・固定抵抗器
酸化金属皮膜固定抵抗器 RS1FB
セメント抵抗器RGB型
- ・スイッチ
スライドスイッチSL16
押しボタンスイッチSM144
- ・コンデンサー
微小容量モールド型コンデンサー

CB無線による事業拡大期 (1970年代)

- ・可変抵抗器
カーステレオ用可変抵抗器 V16L5G
4チャンネルステレオ用可変抵抗器VLS01
ステレオ用ステップ式高級可変抵抗器AP35、
微調整型可変抵抗器ET-T07
- ・アッテネーターACRW402,403
- ・ロータリースイッチ SR382、SRS
- ・スイッチ
信号切替用SX15.SX18
電源スイッチU80DV、U62S1
- ・セメント抵抗器RGC

**ユニット化の展開
FILM基板採用開始 (1980年代)**

- ・可変抵抗器
ポテンシオメーターユニット
回転型VK161,162
スライド型VJKシリーズ
- ・プッシュスイッチ SQ125
- ・タクトスイッチ SK1100
- ・セメント抵抗器
メタルクラッド抵抗器RGH
凍結防止ヒーター抵抗器 RGB(H-U)
- ・ICB製品の初期型発売開始
前面操作ブロック
カーステレオ用 IB-CA
据置型VTR用 IB-VT
カメラ一体型ビデオ用 IB-VT
- ・PETフィルム基板の採用開始
抵抗体にPETフィルムを採用したFILMPOT PINFLEX

ICB製品拡大期 (1990年代)

- ・可変抵抗器
FILM抵抗基板採用 XV010,XV91等
- ・マグネットセンサー開発 TDM
- ・ICB製品
自動車電装 IB-CE
デジカメ IB-DC
カメラ一体型ビデオ用 IB-VC
- ・PETフィルム素材を使用したFILMキートップ開発
携帯電話用 IB-CM
- ・低温半田を開発
PETフィルムに実装可能

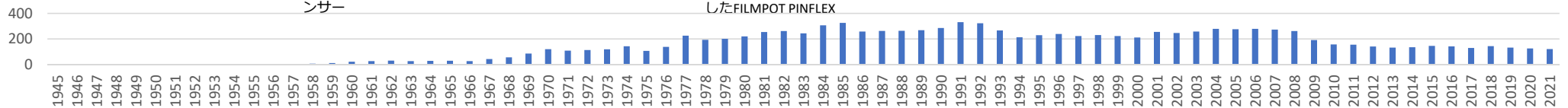
**ICB製品拡大期
リーマンショックによる日本の製造業構造変革期 (2000年代)**

- ・可変抵抗器
チップ型半固定抵抗器 TMC2K
中空タイプ
ポテンシオメーター XV04
- ・スイッチ
プッシュスイッチ SF06
- ・インモールド成形によるカーブスライドタイプ
ポテンシオメーター開発 XCS
- ・薄型テレビ対応電源スイッチ SZ-01,-02
- ・ICB製品 市場拡大

**民生用ICB製品衰退期
東日本大震災
タイの大洪水 (2010年代)**

- ・可変抵抗器
高寿命センサー用
ポテンシオメーター XV0941,XV071,XV099,XVJ09 XLS32,
- ・チップ型半固定抵抗器
バリエーション展開 TMC2K,TMC3K
- ・ロータリーエンコーダ
基板FILM化 XRE012

**新生
NOBLE
転換期**



国内拠点の展開地域



海外拠点の展開地域

NOBLE



私たちの強み

帝通の強み

幅広いニーズに応えるべく、独自のフィルム印刷と成型・プレス加工という2つの技術をコアに、設計・開発・アセンブリまで自社で一貫生産対応を基本に様々なオーダーにこたえられることが私たちの強みです。



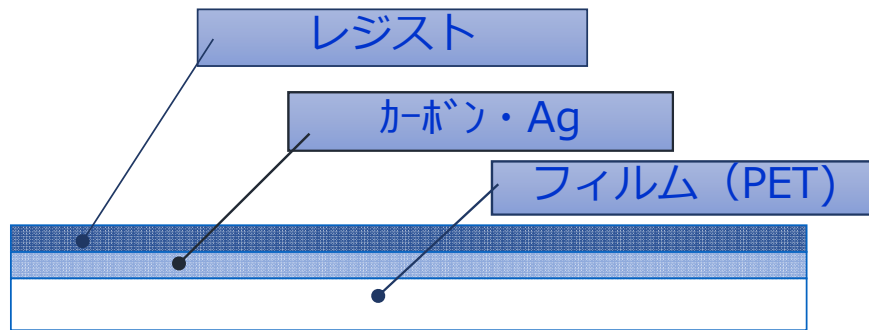
当社グループ概要

私たちの強み——貫生産・自動化の事例

NOBLE



～印刷(フィルム、基板etc…)と加工技術～



フィルム印刷技術
フィルム加工技術

+

成形技術
加飾技術

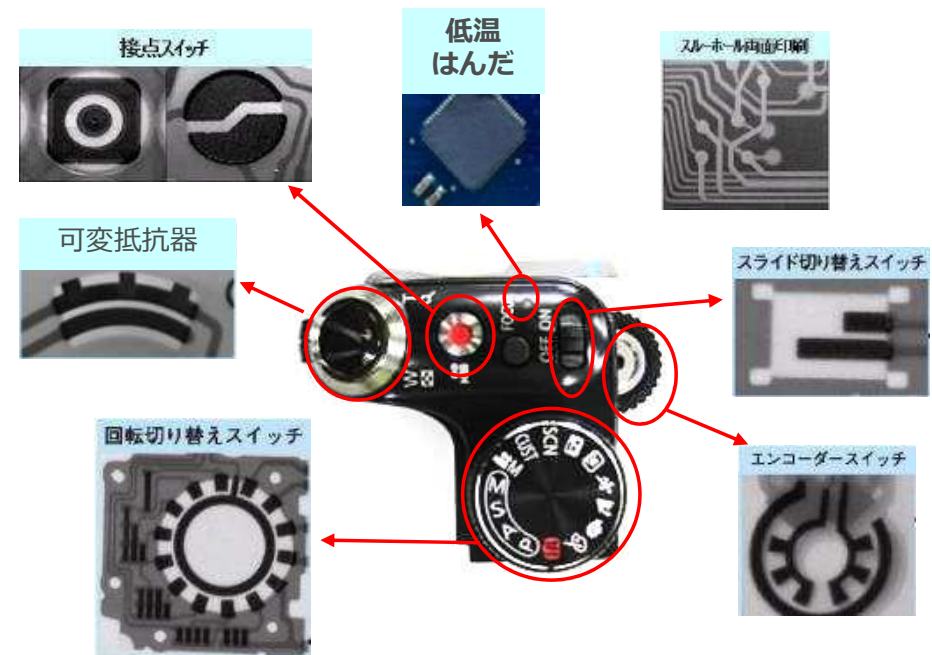
+

プレス技術

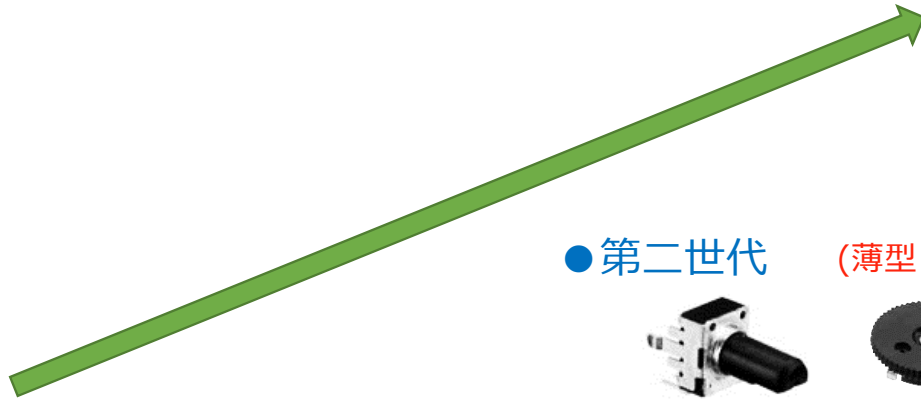
フィルム (PET・PPS) を採用し、デザインニーズにご対応。
可変抵抗、スイッチの接点、パターンなどを印刷し、
フィルム上へ自由な構成が可能。

PETフィルムへ、チップ実装を実現!

※ICB = **I**ntegrated **C**ontrol **B**lock
(前面操作ブロック)



薄型、軽量 から曲面への進化



● 第一世代



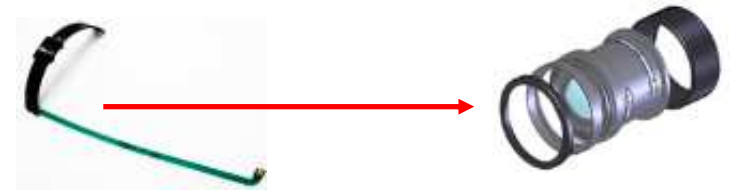
平面タイプの可変抵抗器 ⇒ 基板抵抗体

● 第二世代 (薄型・軽量化)



平面タイプの可変抵抗器からセンサーへ
→ フィルム抵抗体

● 第三世代 曲面タイプのセンサー → フィルム抵抗体

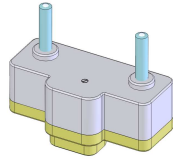


市場別主要製品 - 1

自動車分野



ヘッドライト 角度調整



サイドミラー角度センサ



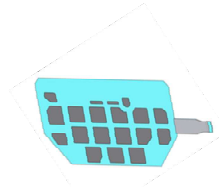
HVAC module

Carエアコン用センサー

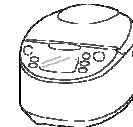
家電映像分野



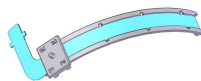
デジタルスチルカメラ



透明電極シート



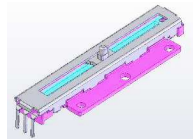
炊飯器



曲面タイプセンサー

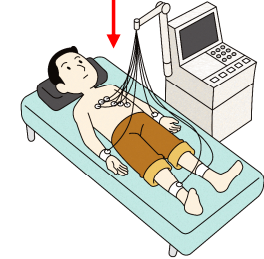
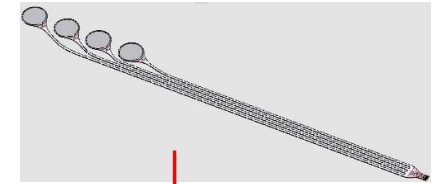


交換レンズ



画角補正スライダ

医療分野



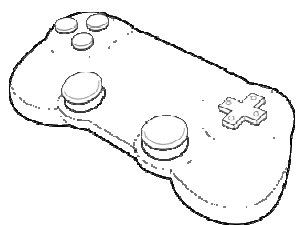
心電図 ディスポーザブル電極

脳波測定用電極にも
応用可能

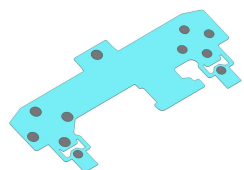
市場別主要製品 - 2

ゲーム分野

ジョイスティック用シート



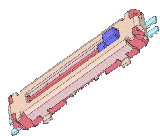
コントローラシート



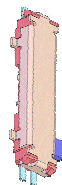
トリガ向け
高寿命センサ 500万回



音量ボリューム
薄型(2mm) 面実装



3Dボリューム
薄型(2mm) 面実装



9型貫通タイプ

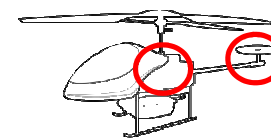
ジョイスティック向け
高寿命センサ 500万回



プロポ・ドローン・その他分野

小型ヘリコプター

世界最小
4型貫通タイプ

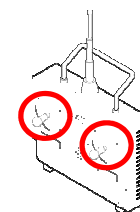


サーボ向け
超小型高寿命センサ
30万回



RC コントローラ

9型シャフトタイプ

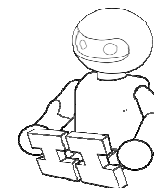


ジョイスティック向け
高寿命センサ
100万回



ロボット

7型貫通タイプ



サーボ向け
小型高寿命センサ
50万回



中期経営計画

- ▶ 企業理念・長期ビジョン・行動指針
- ▶ 経営方針と今期中期経営計画の位置づけ
- ▶ 基本戦略と数値計画
- ▶ 取組施策
- ▶ Sustainabilityへの取組
- ▶ 資本政策（株主還元方針等）

2021. 5. 11発表の中計より抜粋

企業理念

帝通は電子部品の製造とサービスを通して
世界のお客様に満足して頂ける仕事をいつも提供し続けることにより
豊かな社会の実現に貢献します。

長期ビジョン

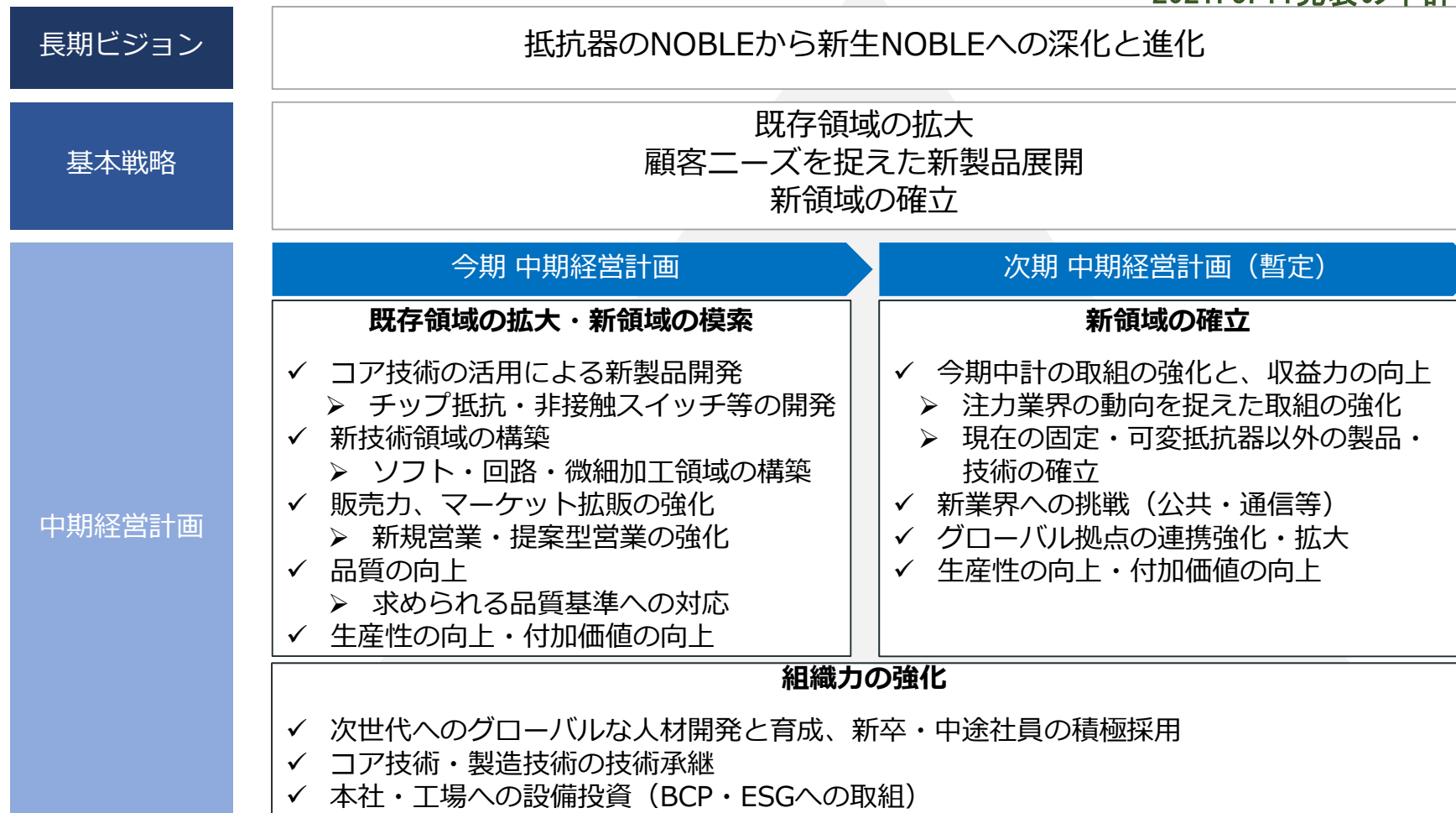
抵抗器のNOBLEから新生NOBLEへの深化と進化

行動指針 (三つのC)

- C**hange (チェンジ：革新)
NOBLEは未来に向かって革新します
- C**hallenge (チャレンジ：挑戦)
NOBLEは失敗を恐れず挑戦します
- C**ommunicate (コミュニケーション：連携)
NOBLEはお取引様やグループ内の連携強化を図ります

経営方針と今期中期経営計画の位置づけ

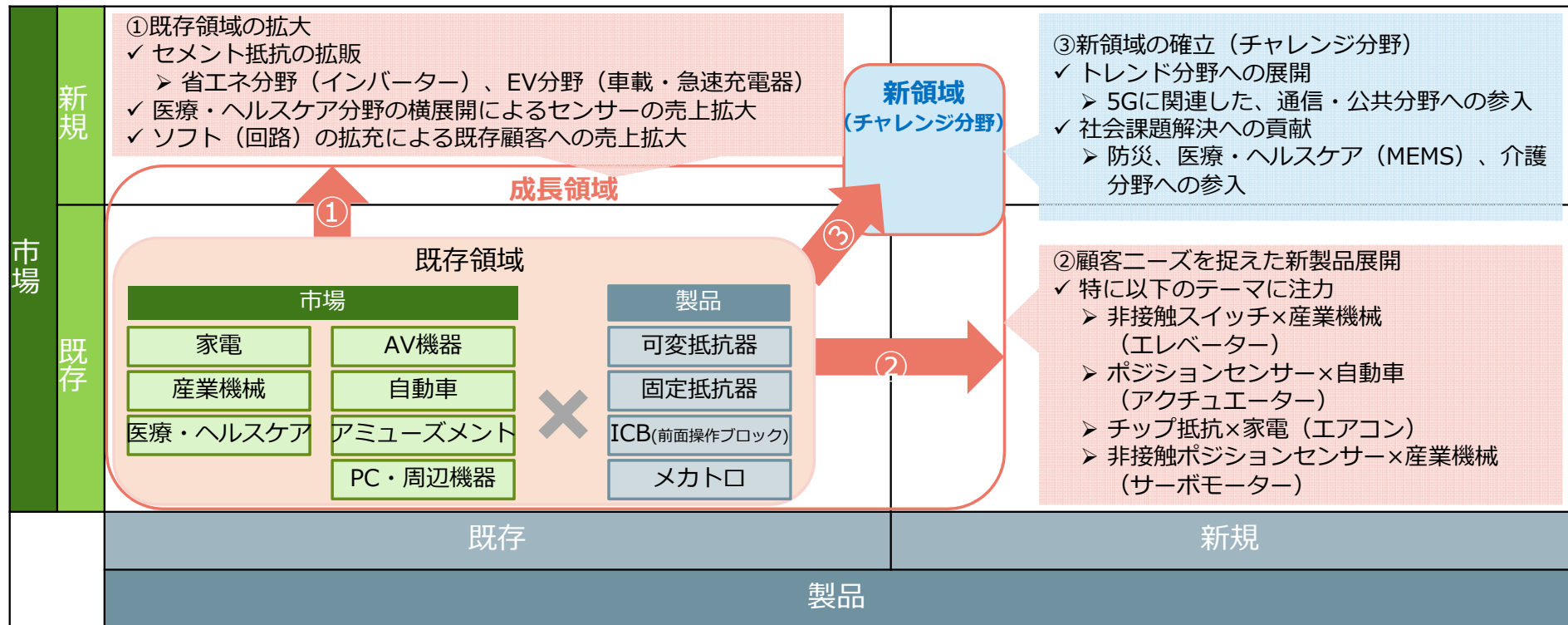
2021. 5. 11発表の中計より抜粋



基本戦略（成長領域）

基本戦略

- ① 既存領域の拡大
 - ✓ 既存業界への製品の横展開を目指す（医療機器等）
- ② 顧客ニーズを捉えた新製品展開
 - ✓ 顧客業界のニーズ・トレンド（非接触・EV等）を捉えた新製品開発を行う
- ③ 新領域の確立（チャレンジ分野）
 - ✓ トrendや環境の変化に合わせた新製品開発により新規市場への展開を図る

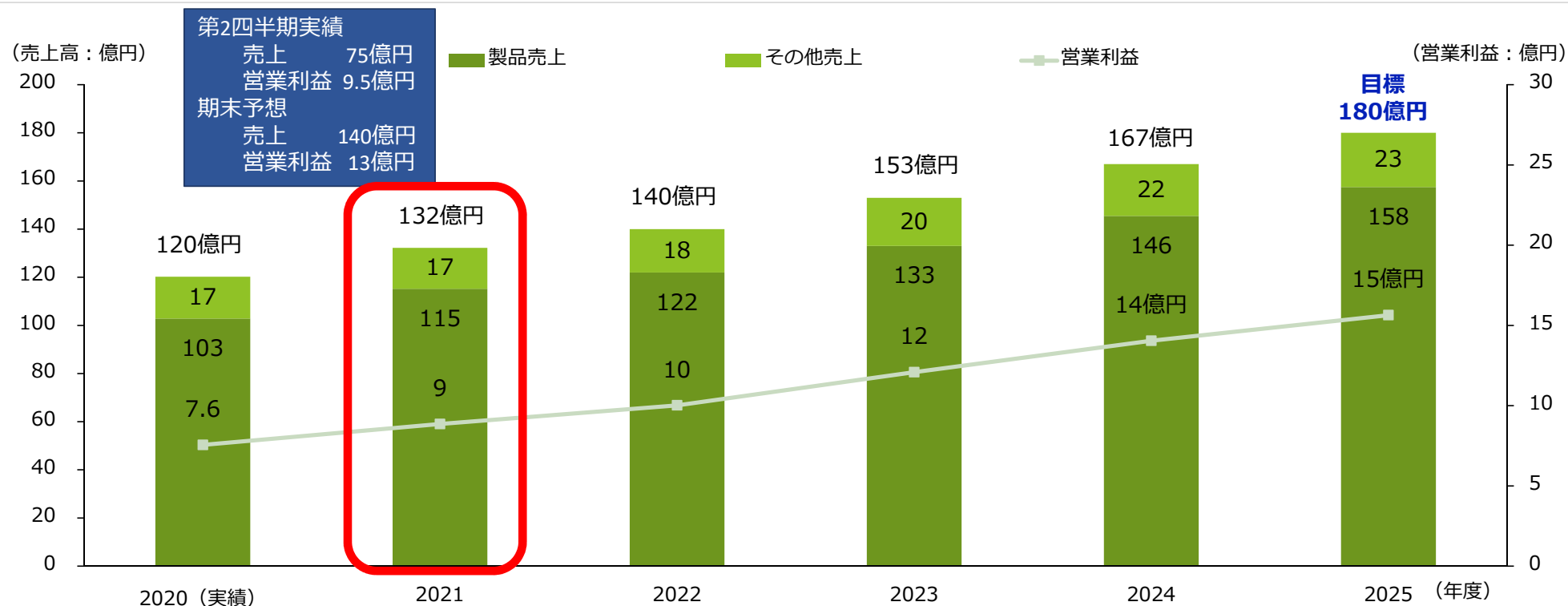


数値目標（全社数値目標）

2021. 5. 11発表の中計より抜粋
2022年5月に数値の見直し予定



- 2025年度に売上高180億円（2020年度実績対比約50%増）、営業利益15億円（2020年度実績対比約100%増）を目指し、当社創立80周年に売上高167億円、営業利益14億円を目標とする。
- 上記数値目標は、経営環境の変化に応じて見直しを行う。



*製品売上とは当社電子部品セグメント中、主要製品の売り上げ

創立80周年

数値目標（業界別シェア）

2021. 5. 11発表の中計より抜粋
2022年5月に数値の見直し予定



- 現在全社売上に占める割合が低い産業機器、医療・ヘルスケアのシェアを拡大する。
- 自動車、家電、アミューズメントは、製品売上高の増加分とほぼ同様の割合での売上拡大を目指す。
- 2025年度には、全社売上に占める新規事業の割合を5%とすることを旨とする。

売上高の業界別シェア（製品売上）

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
製品売上高	115億円	122億円	133億円	146億円	158億円
業界別シェア	<p>2021年度業界別シェア</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車: 28% 家電: 18% アミューズメント: 21% AV機器: 21% 産業機器: 9% 医療・ヘルスケア: 2% PC・周辺機器: 1% 	<p>2022年度業界別シェア</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規取組分野: (small slice) 自動車, 家電, アミューズメント, AV機器, 産業機器, 医療・ヘルスケア: (relative proportions) 	<p>2023年度業界別シェア</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規取組分野: (small slice) 自動車, 家電, アミューズメント, AV機器, 産業機器, 医療・ヘルスケア: (relative proportions) 	<p>2024年度業界別シェア</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規取組分野: (small slice) 自動車, 家電, アミューズメント, AV機器, 産業機器, 医療・ヘルスケア: (relative proportions) 	<p>2025年度業界別シェア</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規取組分野: 5% 自動車: 25% 家電: 16% アミューズメント: 14% AV機器: 13% 産業機器: 6% 医療・ヘルスケア: 1%

取組施策 一新製品開発

中期経営計画の基本戦略に沿って新製品開発を行っており、2022年より拡販開始予定（一部販売済み）

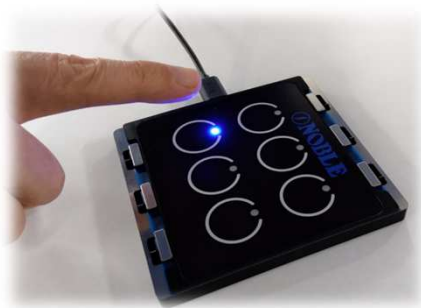
MRS09
非接触型センサ



特徴：磁気式
回転寿命1000万回
(ご参考：当社XV094タイプ接触型 100万回)

用途：業務用ドローン、
ロボットなど

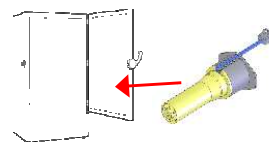
ホバータイプ
非接触タッチセンサ



特徴：光学式
タッチレスセンサ

用途：産業機器、
エレベータなど

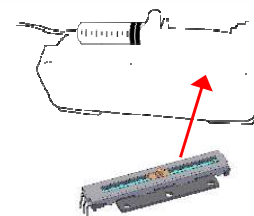
超低温冷凍庫用
減圧弁
(販売済み)



特徴：ヒーター抵抗内蔵
気密構造タイプ

用途：超低温冷凍庫
ワクチン保管用

点滴用シリンジ
位置センサ



特徴：軽トルク
高寿命
高信頼性
用途：医療機器

チップ型
固定抵抗器



特徴：電流検出用
サイズ6432
抵抗値2~10mΩ
用途：エアコン、
各種電源など

株式会社 S'UIMIN との資本提携の締結（2021年12月7日開示）

1. 資本提携の目的

株式会社S'UIMIN（以下「株S'UIMIN」）との間で、資本提携(出資)の契約を締結した。

当社は、電子部品の印刷技術を応用した**生体センサー**を発展させ、**医療器向け事業の拡大**を図っている。

(株)S'UIMIN は、睡眠を取り巻く健康問題や社会課題を解決すべく「**脳波測定ウェアラブルデバイスとAIを駆使した自動解析による睡眠測定サービス**」事業を立ち上げ中の筑波大学発**スタートアップ企業**。

昨今、健康志向はますます高まっておりメンタルヘルスケアも注目されている。またメンタルヘルスは「睡眠」と密接に関係すると言われ、その睡眠の質を測る「睡眠計測サービス」は有望であり、計測には**脳波測定用の生体センサー**を使用するため、両者の注力製品が相互に補完することが可能であることから資本提携を行うこととした。

2. 資本提携(出資)契約締結の内容

当社は、(株)S'UIMIN の株式を第三者割当により取得。 出資額：2億円。

株式会社 S'UIMIN 会社概況

名 称	株式会社S'UIMIN		
本 社	東京都渋谷区初台1丁目51番地1 初台センタービル		
代 表 者	藤原 正明		
設 立	2017年10月17日（決算：9月）		
資 本 金	10,000千円（2021年6月1日現在）		
事 業 内 容	脳波測定ウェアラブルデバイスとAI を駆使した自動解析による睡眠測定サービス		
大 株 主	株式会社SMBC信託銀行（特定運用金外信託未来創生2号ファンド）	10,000株	29.70%
	柳沢 正史	4,000株	11.90%
	藤原 正明	4,000株	11.90%
	株式会社SMBC信託銀行（特定運用金外信託口契約番号12100440）	4,000株	11.90%

(株)S'UIMINの提供するサービス

AI解析

・ これまでにない睡眠検査サービス

脳波データ取得



InSomnograf®

- ・ 入院せずにどこでも
- ・ 電極を自分で簡単装着
- ・ 連続5～7晩の計測可能
- ・ AI判定で迅速かつ正確

レポートや
CSVデータの提供



(株)S'UIMINの会社概況詳細は当社ホームページでも公開しております

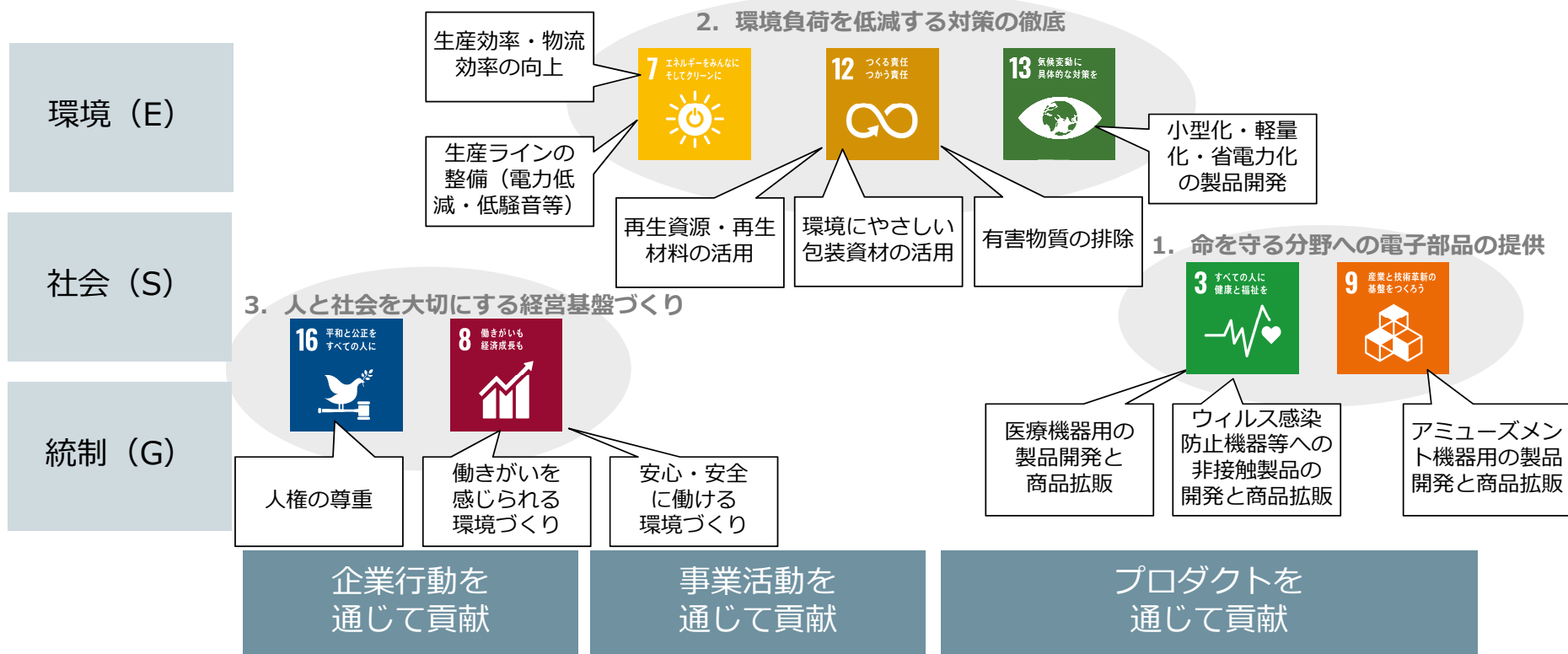
SDGsへの取組

- 当社は、企業理念のもと、電子部品の製造とサービスを通じて持続可能な社会の実現に貢献することが、事業の継続と成長を図るうえで重要であると確信しています。
- SDGsの活動は、当社の企業理念とも合致する部分があるだけでなく、その実現に向けた取り組みを経営方針や経営計画に組み込まれています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- 当社は、SDGsへの取り組みとして「3つの柱」を掲げます。
 1. 命を守る分野への電子部品の提供
 2. 環境負荷を低減する対策の徹底
 3. 人と社会を大切に作る経営基盤づくり



資本政策（株主還元方針等）

2021. 5. 11発表の中計より抜粋
2022年5月に資本政策の見直し検討



- 2022年5月に中期経営計画見直しを行う予定であり、剰余資金配分及び、株主還元を含め、当社の資本政策も見直しを検討する。
- 新規製品向け設備導入、BCPやESGを念頭に工場の増設、新設の検討、新本社建て替え検討等を進める。
- 他社との資本提携等、M&Aも含め積極的・継続的に模索していく。

剰余資金配分方針

中期的な売上・利益の成長を目指し、剰余資金（内部留保）を設備投資、人員増強、M&Aの検討、BCP（事業継続課題）・ESGへの取組等に対する投資に充てます

株主還元方針

事業の成長による1株あたりの利益・配当の増額を目指し、株主様の利益の最大化を目指します

配当方針

1株あたり配当額50円を目安に、利益に応じた安定的・継続的な配当を目指します

- ✓ 2021年度（今期） 50円（予想）
- ✓ 2024年度（創立80周年） 記念配当を検討中

**2022年3月期第2四半期
決算概要と業績予想**

- 2022年3月期第2四半期 業績概要
- 2022年3月期期末 業績予想

● 2022年3月期第2四半期 決算概要

- ▶ 業績概要
- ▶ 連結売上高の推移
- ▶ 連結営業利益の推移
- ▶ 連結売上高の増減分析
- ▶ 連結売上高の内訳
- ▶ 電子部品事業の地域別内訳
- ▶ 電子部品事業の市場分類割合
- ▶ 設備投資、減価償却費、研究開発費

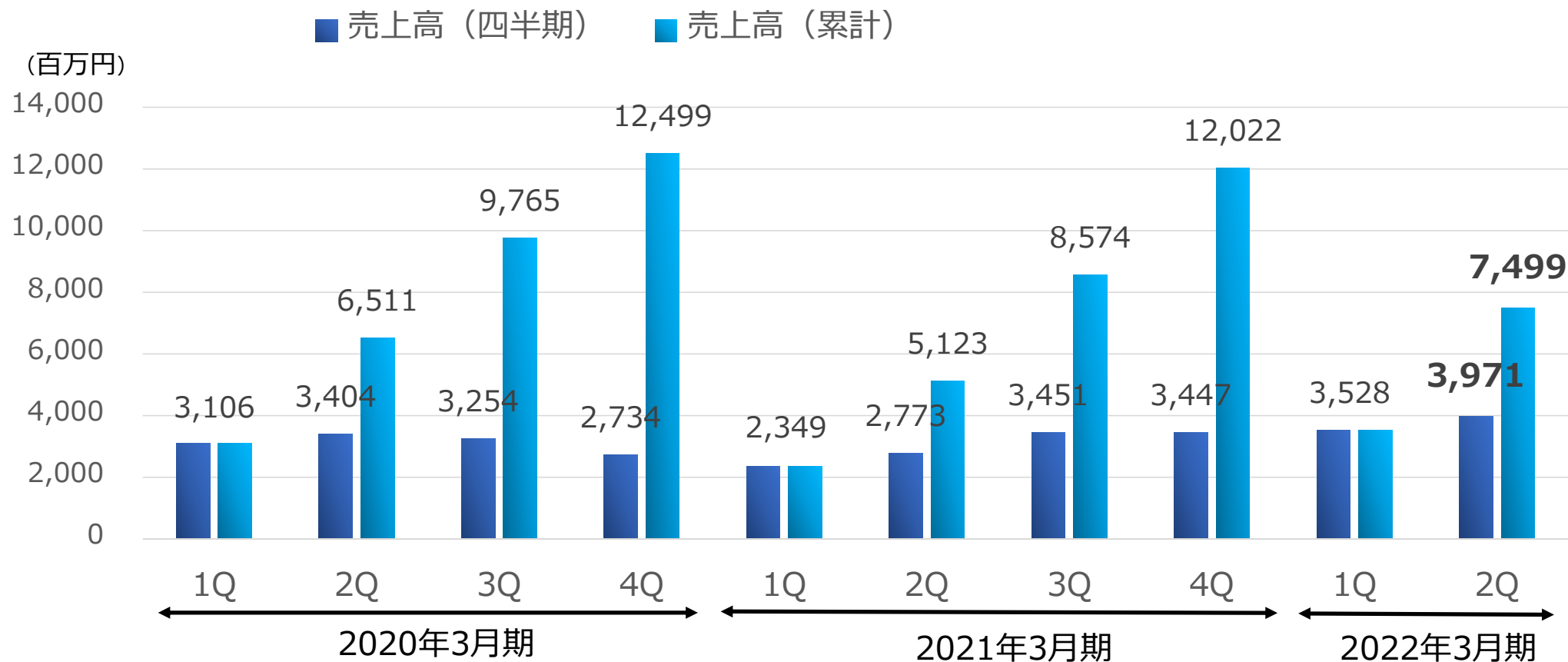
業績概要

NOBLE

(百万円)	2021年3月期 2 Q	2022年3月期 2 Q				前年同期比	
		期初予想	修正予想	実績	修正予想 達成率		
売上高	5,123	6,700	7,500	7,499	100.0%	2,376	146.4%
営業利益	5	500	900	948	105.4%	943	—
対売上高比	0.1%	7.5%	12.0%	12.7%			
経常利益	70	550	950	1,048	110.4%	977	—
対売上高比	1.4%	8.2%	12.7%	14.0%			
親会社株主に帰属 する四半期純利益	24	450	800	797	99.6%	772	—
対売上高比	0.5%	6.7%	10.7%	10.6%			

※営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同期比は、1,000%を超えるため「—」と記載しております。

連結売上高の推移

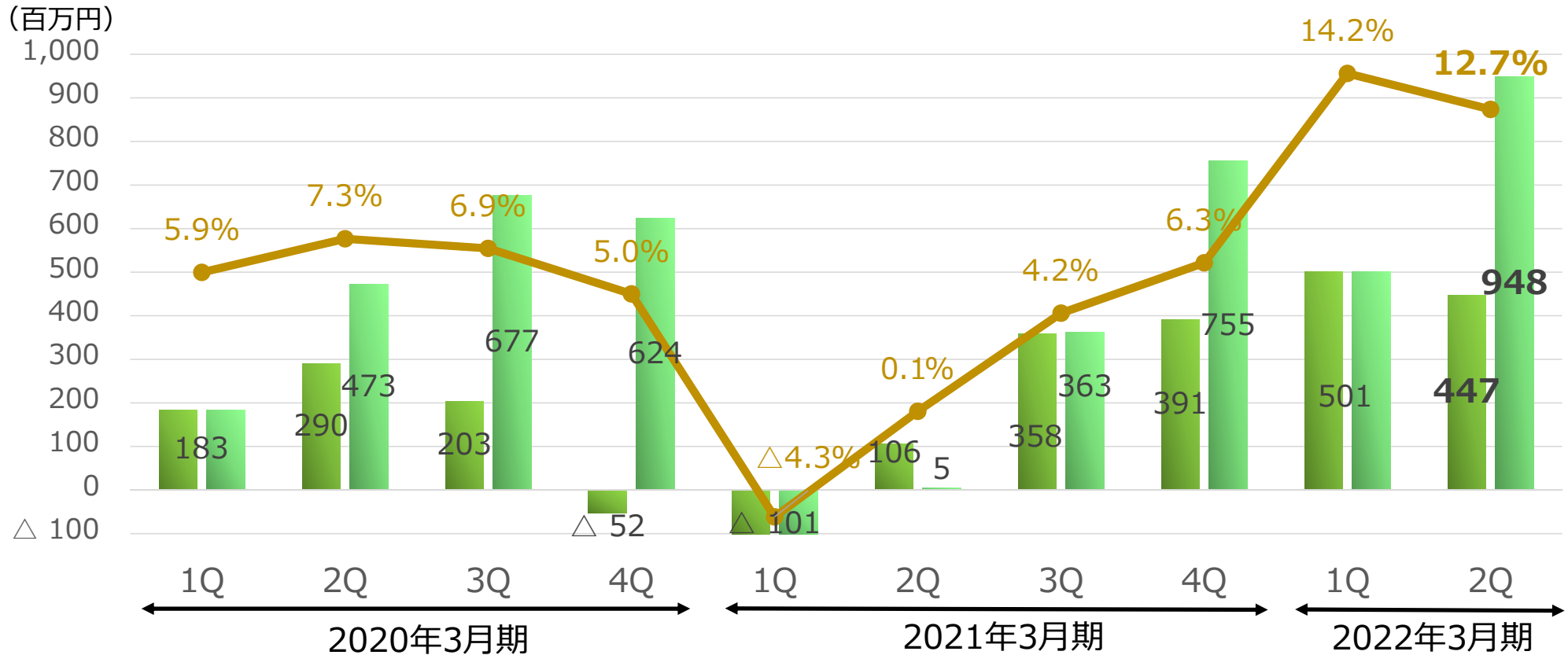


連結営業利益の推移



営業利益

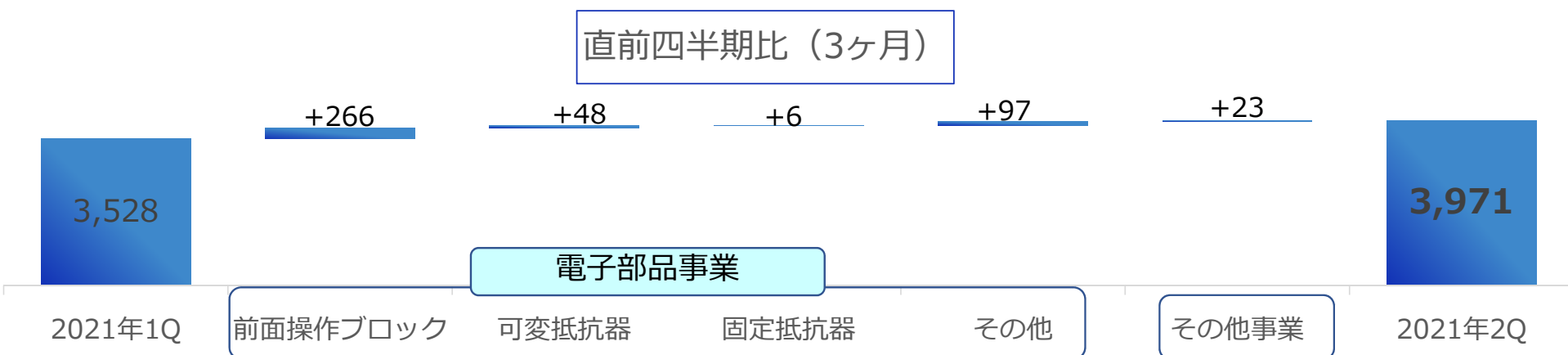
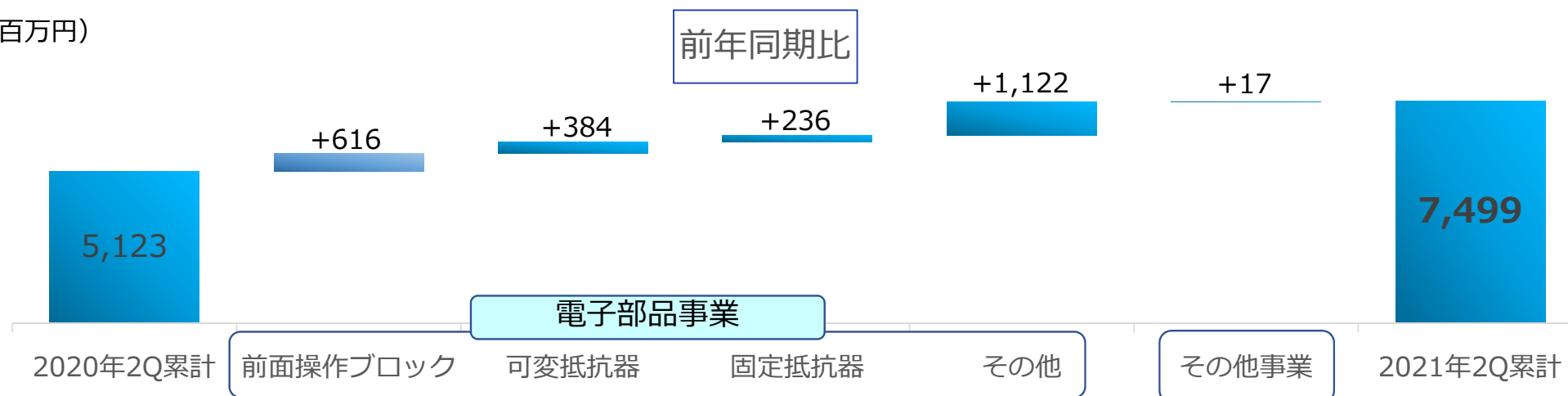
■ 営業利益（四半期） ■ 営業利益（累計） ● 営業利益率（累計）



連結売上高の増減分析

NOBLE

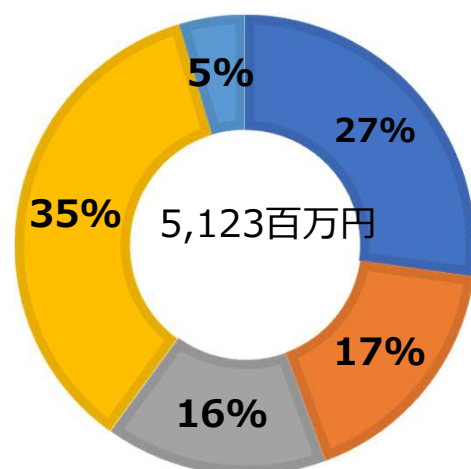
(百万円)



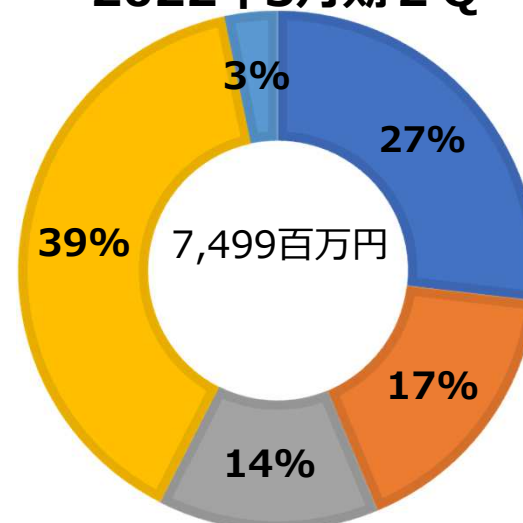
連結売上高の内訳

NOBLE

2021年3月期 2 Q



2022年3月期 2 Q



- 電子部品事業・前面操作ブロック
- 電子部品事業・可変抵抗器
- 電子部品事業・固定抵抗器
- 電子部品事業・その他
- その他事業

(百万円)		2021年3月期 2 Q	2022年3月期 2 Q	前年同期比	
電子部品事業	前面操作ブロック	1,396	2,012	616	144.2%
	可変抵抗器	879	1,263	384	143.7%
	固定抵抗器	797	1,033	236	129.6%
	その他	1,815	2,938	1,122	161.8%
	小計	4,888	7,247	2,359	148.3%
その他事業		234	252	17	107.4%

電子部品事業の地域別内訳

NOBLE

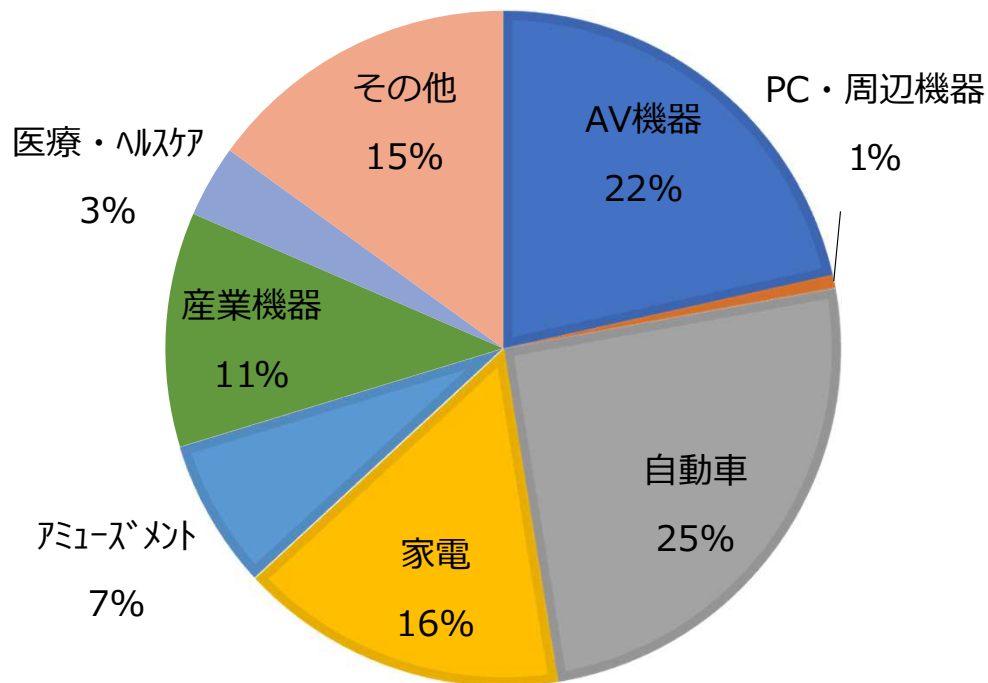
(百万円)		2021年3月期 2 Q	2022年3月期 2 Q	前年同期比	
日本	売上	2,778	3,641	862	131.0%
	セグメント利益	△3	567	571	—
アジア	売上	2,025	3,461	1,436	170.9%
	セグメント利益	△2	387	389	—
北米	売上	83	144	60	172.4%
	セグメント利益	△4	12	16	—
調整額	セグメント利益	4	△28	△32	—
電子部品 合計	売上	4,888	7,247	2,359	148.3%
	セグメント利益	△5	938	944	—

電子部品事業の市場分類割合



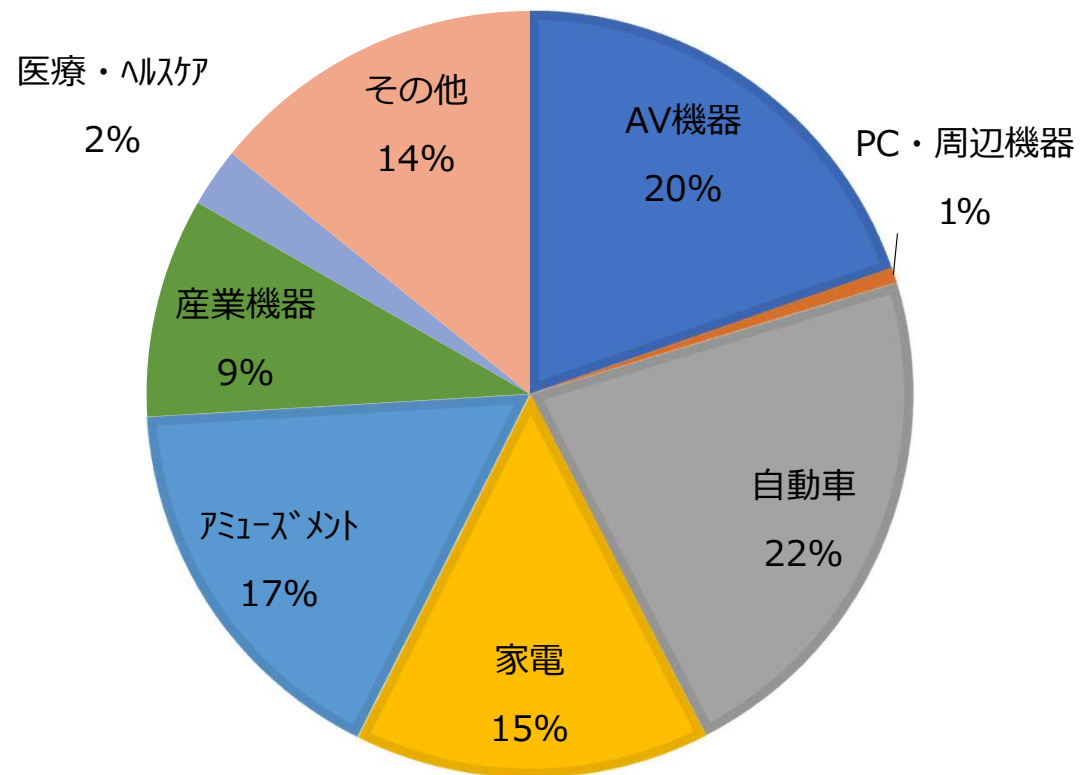
2021年3月期2Q

4,888百万円

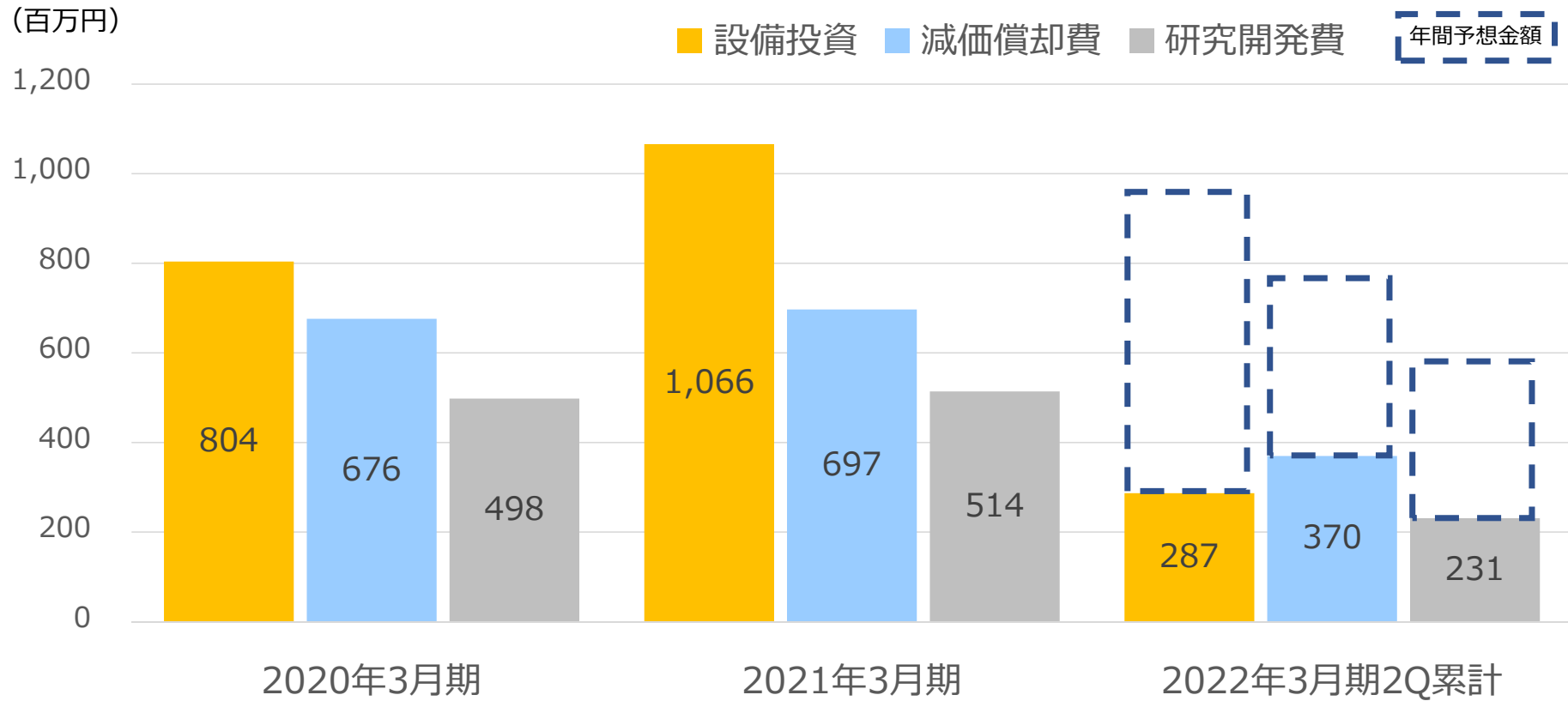


2022年3月期2Q

7,247百万円



設備投資、減価償却費、研究開発費



● 2022年3月期期末 業績予想

- ▶ 業績予想
- ▶ 連結売上高、営業利益予想

業績予想

NOBLE

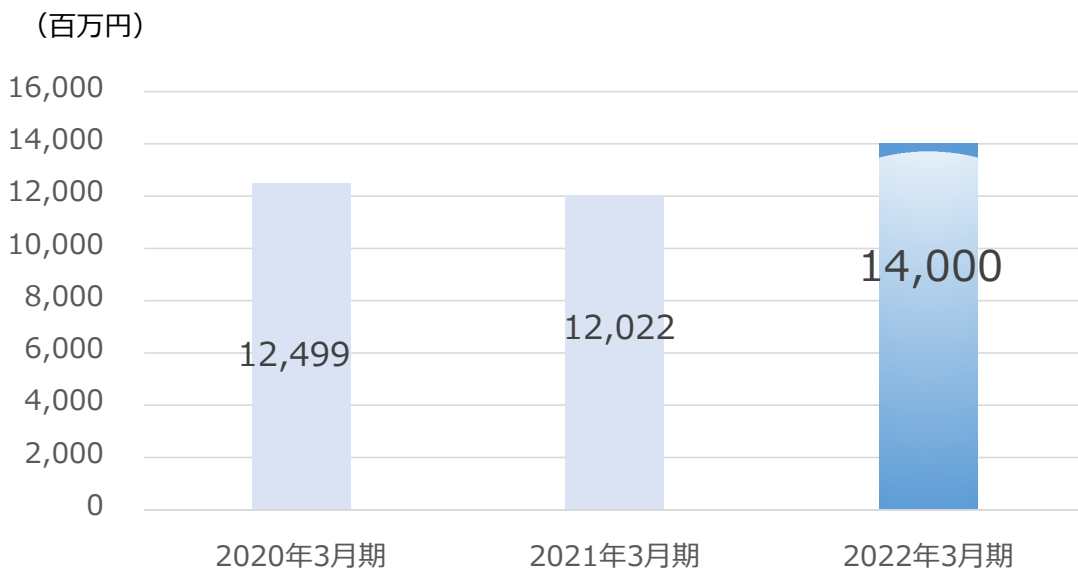
(百万円)	2021年3月期	2022年3月期 予想	前年比		進捗率	
					上期実績	
売上高	12,022	14,000	1,977	116.5%	7,499	53.6%
営業利益	755	1,300	544	172.1%	948	73.0%
対売上高比	6.3%	9.3%			12.7%	
経常利益	883	1,400	516	158.5%	1,048	74.9%
対売上高比	7.3%	10.0%			14.0%	
親会社株主に帰属 する当期純利益	755	1,150	394	152.2%	797	69.3%
対売上高比	6.3%	8.2%			10.6%	

配当 (円)	2021年3月期			2022年3月期		
	中間	期末	年間	中間実績	期末予想	年間予想
	15	25	40	25	25	50

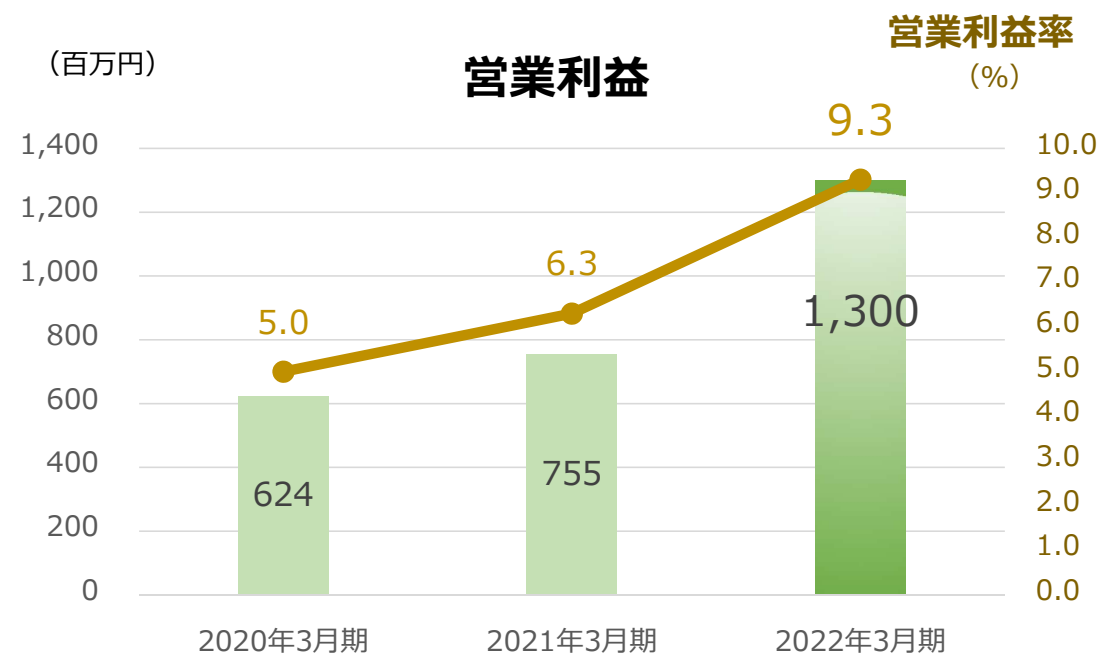
連結売上高、営業利益予想



売上高



営業利益



■ 営業利益 ● 営業利益率



今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

帝国通信工業株式会社 代表取締役社長 羽生 満寿夫

補足資料

	2017/3/31	2018/3/31	2019/3/31	2020/3/31	2021/3/31
売上高(百万円)	12,906	14,329	13,208	12,500	12,022
営業利益(百万円)	789	1,013	1,000	624	755
EBITDA(百万円)	1,438	1,716	1,632	1,301	1,452
純利益(百万円)	710	780	953	-84	755
総資産(百万円)	24,902	26,454	25,505	24,576	27,270
純資産(百万円)	20,774	22,134	21,664	21,202	23,063
ROA(%)	2.9	3.0	3.7	-0.3	2.9
ROE(%)	3.5	3.7	4.4	-0.4	3.5
PER(倍)	13.1	16.2	12.5	-138.8	14.3
PBR(倍)	0.46	0.58	0.56	0.56	0.48
EPS(円)	72.39	79.44	97.06	-8.55	76.74
BPS(円)	2,072	2,209	2,157	2,111	2,297
一株当たり配当金(円)	35	50	50	50	40
配当利回り(%)	3.7	3.9	4.1	4.2	3.6
配当性向(%)	48.3	62.9	51.5	-584.5	52.1

(百万円)

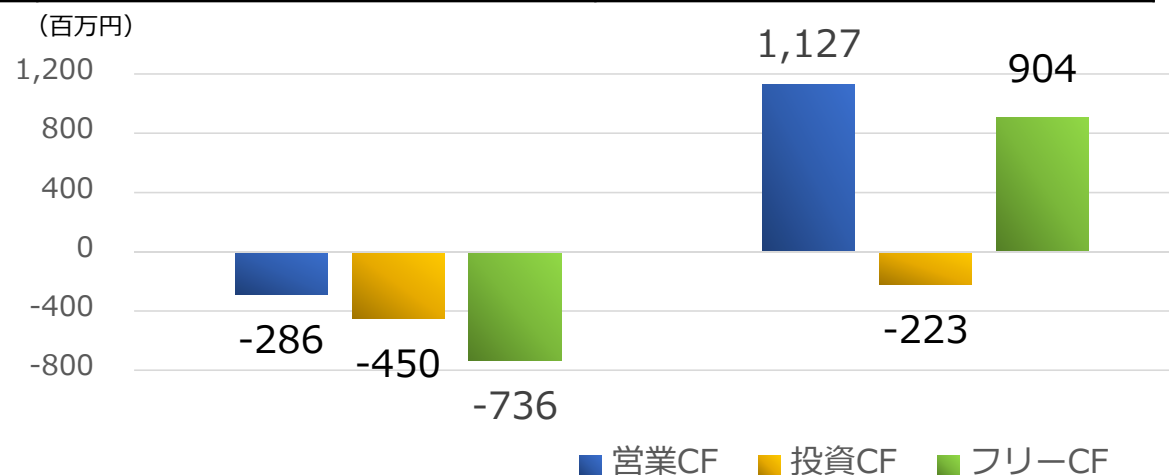
		2021年3月期	2022年3月期 2 Q	増減
資産	流動資産	15,846	16,910	1,063
	固定資産	11,423	11,573	150
	合計	27,270	28,483	1,213
負債	流動負債	2,360	2,730	369
	固定負債	1,846	1,974	128
	合計	4,206	4,705	498
純資産 合計		23,063	23,778	714
負債純資産 合計		27,270	28,483	1,213

➤ 流動資産：現金及び預金（660百万円）の増加等

(百万円)

	2021年3月期 2 Q	2022年3月期 2 Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	△286	1,127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△450	△223
財務活動によるキャッシュ・フロー	△304	△381
現金及び現金同等物の期首残高	7,888	6,842
現金及び現金同等物の期末残高	6,780	7,507

- 営業活動：税金等調整前四半期利益
(1,058百万円) 等
- 投資活動：有形固定資産の取得
(284百万円) 等
- 財務活動：配当金の支払い
(245百万円) 等





NOBLE

帝国通信工業株式会社

本資料に記載されている将来の業績見通し及び予測につきましては資料作成時点における当社の判断によるものであり、外部環境の変化に伴う潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。そのため、様々な要因による経営環境の変化に伴い、実績が本資料に記載された見通し等と大きく異なる可能性があります。

お問合せ先：	帝国通信工業株式会社 経理室
TEL:	044-422-3831
E-Mail:	ir-info@ho.noble-j.co.jp
URL:	https://www.noble-j.co.jp/